

新著中國鍼灸科治療學

虞念祖著



1907
林以春

新著中國鍼灸外科治療學序

羅子兆瑤。有心人也。年長於余而謙抑過之。吾社初設。卽不恥下問。於鍼學問題。藉飛鴻之往返。窮源竟委。研討無遺。吾卽心儀其人。知爲有志之士。迨鍼灸雜誌刊行。按期投稿。悉皆精心之作。明白曉暢。啓發來者匪淺也。因知其抱負遠大。志在闡揚國粹而造福人羣。與吾心不謀而合。遂益欽敬之。乙亥之夏。余自東瀛歸。創設鍼灸講習所。卽電聘爲講師。羅子不憚關山遙越。辭別高堂。捐棄診務。遠離鄉井。冒暑而來。贊襄擘劃。建議頗多。其熱忱爲何如哉。尤可佩者。授課之餘。則管臣在握。揮寫不輟。其爲斯道之努力。誠爲我社同人所不及。今夏羅子以其新輯外科針灸治療學稿見貽。檢其內容。將外科病症。分門別類。羅列靡遺。並註明其病因症狀。繼則示以針灸療治之法。又附藥石助治以殿其後。簡明切要。深中肯綮。爲我醫界闢一新途經。爲我人羣謀一新解除痛苦之法焉。吾儕生逢末世。雖不能如聖賢之立德立言。爲社會標榜。爲後人楷式。亦應盡所知以供獻於羣衆。斯不負天之



生我。羅子斯輯之成。其供獻於社會羣衆子。羅子誠有心人也。今爲之剖劂行世。並撮數言以序之。

民國二十五年歲在丙子菊有黃華之月承淡安書於澄江龍砂山麓之蟄廬

新著中國鍼灸外科治療學

自序

稽夫國家之興。在乎民族之盛。民族之盛。在乎民質之強。民質之強。在乎醫藥之精。醫藥者。乃保衛民族健康之工具也。西人醫藥。重乎科學。吾國醫藥。重乎哲理。而科學之源。則不越乎哲理。哲理云者。乃宇宙萬有之原理也。爲人類以智慧探求宇宙間一切根源之學問。東京帝國大學。生理教授永井潛先生云。哲理者。實自然科學及醫學之保姆也。彼西人則持此理而研究之。務窮神達化。精益求精。而後已焉。我國則故步自封。不求演進。故落伍之誚。病夫之譏。實咎由自取。同人苟不奮振鑽研。何能昭雪恥辱。何能保衛健康。而致民族於強盛者哉。竊思我國醫藥一道。已歷四千六百餘年。任何文明國家。孰能企及。且國醫中之鍼灸術。正若星辰之麗天。日月之普照。至聖至神。無以蔑加。誠屬生命根本之醫術也。惜國人不知自圖。羣趨歐化。舍己從人。炫異逞奇。非至毀滅國粹不止。不知科學銳進之西歐。尙舍其機化本

能。而從事研究神經物理療法。所謂神經物理療法者。乃吾鍼灸術之科學詞語也。此術爲吾國所發明。祖鞭自應先着。奚能再落人後。蓋鍼灸之術。雖湮沒已久。所幸天道好環。繼起有人。賢哲當世。出而提倡。發揚光大。不數年已風行全國。普惠災黎矣。予雖下愚。豈甘居後。並不忍視此大好國粹。被人棄若弁髦者也。爰不自揣譎陋。曾編著鍼灸便覽表。鍼灸實用指要。鍼灸穴腧治療歌等集。並一切言論雜說。俱經刊於鍼灸雜誌內。以冀喚醒黃魂。驚起酣夢。俾同趨於鍼灸陣綫。一致奮鬥。區區之志。如斯已耳。茲仍本公開原旨。除每日從事於鍼鎗艾彈以謀出路外。乃將平日經驗。摯友口述。業師醫案。先賢成法等。匯彙成篇。顏之曰新著中國鍼灸外科治療學。以輔助 承澹盦夫子所著之中國鍼灸治療學之所不及。然固無當於著作。斯乃聊備一格。以供同志參考之需而已。至於抉微闡奧。愧予未能。僥倖弋名。則吾豈敢。此書殺青在卽。特贅數言以爲之誌。幸祈 高明先進。有以教正焉。是爲敘。

中華民國二十五年八月丙子之孟秋朔中國鍼灸學研究社研究股主任廣西柳州蔚羣羅兆
琚敘

編輯大意

一、鍼灸萬能。幾爲全球所公認。惟學識淵博之方家。經驗有素之高手。方能語此。非可概論也。茲考歷代鍼灸典籍。向無分門別類之外科著作。誠屬憾事。鄙人不揣譎陋。爰就個人之臨床實驗。或得諸師友之醫案。暨先賢成法。分類編纂成篇。既可輔助中國鍼灸社 承社長澹盦先生所著中國鍼灸治療學一書之所不及。復可以爲後進者作一外科鍼灸治療之準繩。簡明確當。極便實用。

二、是書計分頭面、胸腹、背脊、四肢、雜證、等五門。按門分類。朗若列眉。且俱皆提綱挈領。網舉目張。雖未能包羅萬有。然亦可稱鍼灸治療外科疾證之嚆矢。

三、是書對於各病之原因證象等敘述。非常明確。治療用穴之攷訂。亦極周詳。助治多求單方。尤爲簡當。學者倘能依法施用。確有起廢拔痼之功。絕無模稜泛濫之弊。此書編著閱時二載。數易其稿。始克蕆事。誠屬煞費苦心。

四、古代名醫之言論。堪作吾人之法則者。俱摘要錄出。以作治證診斷之南鍼。讀者

宜勤加熟覽。切不可忽略視之。

五、治療諸法。悉含有深意存在。讀者能細加玩索。不難逐類旁通。洞中竅要。

六、治療法中。經外奇穴竟占十之二三。希讀者諸君。將拙製之鍼灸便覽表。「見鍼灸雜誌第一卷第一期至第六期內」對照參閱。則尋取自易。俟稍閒暇。再將該奇穴編成專書。俾供同志鑽研探討。

七、是書所取用之穴。其宜鍼宜灸。或補或瀉。及刺入分寸。所灸壯數。概未明題。讀者宜因其病象之狀態。於臨床時相機應變。庶免囿於一隅。貽誤病機。至於助治。多為經驗單方。俾便窮鄉僻壤。隨時隨地均可擇施。故所列之經穴「或奇穴」與單方。俱以能適實用為依歸。

八、疔瘡喉症。最為危險。能朝發夕死。隨發隨死。治之之法。稍有失誤。便難挽救。故本書特將此二證。廣為搜集。詳細舉列。以備救急之需。庶免臨證默思揣想之苦。

九、是書雖舉證四百四十餘條。而紕謬支離。自知不免。尚希海內明達。不吝指教。俾將來續篇出世。得以重訂則幸甚。

新著中國鍼灸外科治療學目錄

診治指南	一
疔瘡論	七
癰疽論	八
丹毒論	九
瘡瘍論	一〇
癭瘤論	一〇
頭面門	一一
(I) 眉目部	一一
(一) 雀目	一一
(二) 眼睫毛倒	一二
(三) 青盲眼	一二
(四) 迎風冷淚	一三
(五) 爛弦風	一四

(六) 眼目赤腫	一四
(七) 偷鍼眼	一五
(八) 眼紅腫痛	一五
(九) 目腫生翳	一六
(十) 瞳人癢	一六
(十一) 頭目浮腫	一六
(十二) 眼目被傷	一七
(十三) 眼暴腫	一七
(十四) 目羞明	一八
(十五) 目生贅肉	一八
(十六) 目生內障	一九
(十七) 眉心疔	一九
(十八) 上下眼胞疔	二〇
(十九) 眉燕疔	二一

(二十)	眉下絲行疔	二二
(二十一)	白眼痧	二二
(二十二)	蟹眼痧	二二
(2) 耳部		
(一)	耳紅腫痛	二二
(二)	疇耳生瘡出膿	二二
(三)	耳鳴	二三
(四)	耳癢耳痛	二四
(五)	耳聾氣痞疼痛	二四
(六)	重聽無聞	二五
(七)	耳根紅腫疼痛 又名耳門毒	二五
(八)	左耳根腫核	二六
(九)	右耳根腫核	二六
(十)	耳癰	二六
(十一)	耳後疔	二七
(十二)	耳下疔	二七

(十三)	耳門疔 一名茸疔	二八
(十四)	耳湧疔	二八
(十五)	耳垂疔	二八
(十六)	耳內一切腫痛	二八
(3) 鼻部		
(一)	鼻流污濁	二九
(二)	鼻生瘰肉閉塞不通	二九
(三)	鼻淵	三〇
(四)	鼻流清涕嚏不止	三一
(五)	鼻塞不聞香臭	三一
(六)	鼻衄不止	三一
(七)	鼻衄痧	三一
(八)	鼻瘡或鼻中一切疾證	三一
(九)	鼻節疔 一名鼻梁疔	三三
(十)	山根疔	三三
(十一)	鼻尖疔	三四

(十二) 穿鼻疔	三四
(十三) 鼻環疔	三四
(4) 口唇部	三五
(一) 口内生瘡	三五
(二) 口生蝕瘡齦爛臭氣衝人	三五
(三) 口眼喎斜	三六
(四) 口乾	三六
(五) 口噤不語	三七
(六) 口疳臭穢人不可近	三七
(七) 口臭不可近人	三八
(八) 口中諸病	三八
(九) 口吐清涎	三九
(十) 口角流涎	三九
(十一) 唇菌	四〇
(十二) 唇腫	四〇
(十三) 唇緊口難開	四〇

(十四) 唇動如蟲行一名唇臍動	四一
(十五) 唇吻燥裂	四一
(十六) 口張不合	四二
(十七) 上反唇疔	四二
(十八) 下反唇疔	四二
(十九) 鎖口疔一名地倉疔	四三
(二十) 弔角疔一名鎖井疔	四三
(二一) 內反唇疔	四三
(二二) 大燄疔	四四
(5) 齒舌部	四四
(一) 上齒痛及牙關不開	四四
(二) 下齒痛及頰紅腫痛	四五
(三) 牙齦腫痛	四五
(四) 牙疳齦蝕爛	四六
(五) 齒齲	四六
(六) 牙齒腫痛	四七

(七) 青腿牙疳	四八
(八) 牙關脫臼	四九
(九) 舌縮難言	四九
(十) 舌吐不收	四九
(十一) 舌強不話	五〇
(十二) 舌緩不語	五〇
(十三) 舌腫難言	五一
(十四) 重舌腫脹難語	五一
(十五) 舌尖疔	五二
(十六) 羊舌痧	五二
(十七) 一切舌症	五二
(十八) 蛇舌痧	五三
(十九) 黑舌痧	五三
(6) 咽喉部	五三
(一) 咽喉腫痛	五三
(二) 喉痺	五四

(三) 喉癰	五五
(四) 喉痞 一名失音	五六
(五) 喉中如梗	五六
(六) 喉疔 一名喉旁蝎子疔	五六
(七) 咽喉閉塞水粒不下	五七
(八) 咽喉腫閉	五七
(九) 雙乳蛾	五七
(十) 單乳蛾	五九
(十一) 走馬喉痺	五九
(十二) 纏喉風	五九
(十三) 爛喉痺	六〇
(十四) 淡紅喉痺	六〇
(十五) 鎖喉風	六一
(十六) 鎖喉癰	六一
(十七) 飛揚喉	六二
(十八) 白喉證	六二



(7) 頭蓋部……………六三

(一) 頭風……………六三

(二) 頭痛……………六三

(三) 頭腫……………六四

(四) 頭痛項強不能回顧……………六五

(五) 頭項紅腫強痛……………六五

(六) 大頭疔……………六五

(七) 插花疔 一名描髮疔……………六六

(八) 前髮際疔……………六六

(九) 天門疔……………六七

(十) 天庭疔……………六七

(十一) 鶴頂疔 一名佛頂疽……………六七

(十二) 天頂痧……………六八

(十三) 頭額腫……………六八

(十四) 腦後痧……………六九

(8) 面頰部……………六九

(一) 面腫……………六九

(二) 骨槽風……………六九

(三) 兩頰紅腫生瘡……………七〇

(四) 鬚髭發毒……………七〇

(五) 面癢如蟲行……………七一

(六) 葡萄疔……………七一

(七) 迎香疔……………七二

(八) 散笑疔……………七二

(九) 太陽疔……………七二

(十) 印堂疔……………七三

(十一) 淚堂疔……………七三

(十二) 顴骨疔……………七四

(十三) 面巖疔……………七四

(十四) 頤疔 一名雙鉗……………七四

(十五) 顴齶疔 一名對齒疔……………七五

(十六) 牙咬疔……………七五

(十七) 頰車疔	七五
(十八) 人中疔 一名龍泉疔	七六
(十九) 地合疔	七六
(二十) 撐耳風 又名痒腮	七七
(二十一) 七星趕月疔	七七
(9) 頸項部	七八
(一) 頸疽	七八
(二) 蝮蛇癰	七九
(三) 五癭	七九
(四) 九子瘍	八〇
(五) 天柱疽	八一
(六) 後髮際疔	八二
(七) 正對口疔	八二
(八) 偏對口疔	八三
(九) 蜂窩癰	八四
(十) 惠袋癰	八四

胸腹門

(1) 胸腹部	八五
(一) 聯珠疔	八五
(二) 瓜籐癰	八五
(三) 馬刀瘍	八六
(四) 吼喘胸膈急痛	八六
(五) 腋痛	八七
(六) 對胸痧	八七
(七) 慢心銳毒	八八
(八) 臥胸疔 一名井疽	八八
(九) 腋下疔 一名挾癰	八九
(十) 龜胸	八九
(十一) 穿胸痧	九〇
(十二) 胸痺	九〇
(2) 乳脇部	九〇
(一) 乳癰	九〇

(二) 乳巖·····	九一
(三) 乳節·····	九二
(四) 乳頭生瘡·····	九二
(五) 乳發·····	九三
(六) 吹乳又名外吹乳·····	九三
(七) 乳汁不通·····	九四
(八) 婦人乳少·····	九五
(九) 妒乳·····	九五
(十) 乳上下生疔·····	九六
(十一) 脇下塊痛·····	九七
(十二) 淵疽·····	九七
(3) 腹臍部·····	九八
(一) 臑脹·····	九八
(二) 鼓脹痧·····	一〇〇
(三) 氣鼓痧·····	一〇〇
(四) 雙蠱脹·····	一〇一

(五) 氣脹·····	一〇一
(六) 單腹脹·····	一〇二
(七) 脾虛中滿·····	一〇二
(八) 胃癰·····	一〇三
(九) 胃巖·····	一〇三
(十) 大腸癰·····	一〇四
(十一) 大腸痧·····	一〇四
(十二) 小腸癰·····	一〇五
(十三) 小腸痧·····	一〇六
(十四) 肺癰·····	一〇六
(十五) 臍中出膿·····	一〇七
(十六) 中脘疽·····	一〇八
(十七) 子午痧·····	一〇八
(十八) 少腹疽 一名小腹癰·····	一〇九
(十九) 水鼓痧·····	一〇九
(二十) 肚脹痧·····	一一〇

(二一) 肚翻痧	一一〇
(二二) 厥心痛	一一〇
(二三) 鑽心痧	一一二
(二四) 膈食痧	一一二
(二五) 盤臍痧	一一二
(二六) 絞腸痧	一一三
背脊門	一一三
(1) 肩背部	一一三
(一) 發背	一一三
(二) 瘦瘤	一一五
(三) 肉龜瘡	一一五
(四) 肩井疔	一一六
(五) 癰疽發	一一六
(六) 背脊疔	一一七
(七) 肩背紅腫疼痛	一一八
(八) 龜背	一一九

(九) 背痛	一一九
(2) 腰脊部	一一〇
(一) 偏僕	一一〇
(二) 腰帶癱	一一〇
(三) 腰痛	一一〇
(四) 脊痛	一一一
(五) 下搭手 一名連腎發	一一一
(六) 中石疽	一一二
(七) 鍼腰痧	一一二
(八) 纏腰火丹	一一二
(九) 腎俞發背	一一三
四肢門	一一三
(1) 肘臂部	一一四
(一) 手臂紅腫疼痛	一一四
(二) 手臂痛不能舉	一一四
(三) 臂疽	一一四

(四) 臂癱	一二五
(五) 臂痺	一二五
(六) 臂厥	一二五
(七) 肘癱	一二六
(八) 手臂風痺	一二六
(九) 手臂背生瘡	一二七
(十) 肘臂變急 <small>後重</small>	一二七
(十一) 脈門紅絲疔	一二七
(十二) 腕痛痧	一二八
(2) 指掌部	
(一) 十指疔	一二八
(二) 螺紋疔	一二九
(三) 食指疔	一二九
(四) 中指疔	一二九
(五) 無名指疔	一三〇
(六) 小指疔	一三〇

(七) 擊珠疔 <small>一名掌心疔</small>	一三〇
(八) 手背疔	一三一
(九) 手背生毒 <small>一名附筋發背 又名手背發</small>	一三一
(十) 手心熱	一三一
(十一) 手槽疔	一三二
(十二) 手指節痛不能屈伸	一三二
(十三) 手腕腫大	一三二
(十四) 兩手顫振不能握物	一三三
(十五) 手指拘攣筋緊	一三三
(十六) 手指痧	一三三
(十七) 白線痧	一三四
(十八) 紅絲瘡	一三四
(十九) 脫骨疽 <small>一名脫疽 一名脫節疔</small>	一三四
(二十) 腕骨痛	一三五
(3) 腿膝部	
(一) 鶴膝風	一三六

(二) 臍骨疔……………一三七

(三) 環跳疽 一名附骨疽 一名貼骨疽……………一三七
一名縮脚疽

(四) 脚氣瘡……………一三八

(五) 脚氣衝心……………一三八

(六) 牛頭癰……………一三九

(七) 脚上紅絲疔……………一三九

(八) 脚氣……………一三九

(九) 足寒如冰……………一四〇

(十) 足麻痧……………一四一

(十一) 足不收 一名足緩……………一四一

(十二) 足痿不能行……………一四二

(十三) 下石疽……………一四二

(十四) 咬骨疽……………一四三

(十五) 足寒熱……………一四三

(十六) 風痺脚脗麻木……………一四四

(十七) 膝腿痠痛……………一四四

(十八) 脚腫……………一四五

(十九) 縮脚痧……………一四五

(二十) 足攣……………一四六

(二一) 膝脛痠痛……………一四六

(二二) 兩足顫掉不能移步……………一四六

(二三) 腿寒痺痛……………一四七

(二四) 腿叉風……………一四七

(二五) 腓膈疽……………一四七

(二六) 腿堅硬如石……………一四八

(二七) 腿痛不能屈伸……………一四八

(二八) 大脚風……………一四八

(4) 跗趾部……………一四九

(一) 脚拐毒 一名外踝疽 一名穿踝風……………一四九

(二) 內踝疽 一名鞋帶疽 一名繞踝風……………一四九

(三) 足發背……………一五〇

(四) 足跟痛……………一五〇